

**平成29年度
高齢者居住施設調査の概要
[養護老人ホーム・生活支援ハウス]**

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、本市の養護老人ホーム・生活支援ハウスの稼働状況を把握することにより、養護老人ホーム・生活支援ハウスのサービス提供に着目した基盤整備に関する基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象及び客体

本市において、平成30年3月31日現在で次の養護老人ホーム・生活支援ハウスがサービスを提供しており、この施設の全数を調査客体とした。

サービス種別	事業所	回答数	回収率
養護老人ホーム	1	1	100%
生活支援ハウス	3	3	100%

3 調査の時期

平成30年3月31日

4 調査事項

(1) 養護老人ホーム

年度末の次の数値について調査。

- ① 施設の介護サービスの併設状況（特定施設入所者生活介護の指定の有無等）
- ② 入所定員と入所者数（要介護度別、日常生活自立度別、入所前の住所地別）
- ③ 入所者の生活保護受給の有無、単身・夫婦世帯の有無、利用している介護サービス別の内訳（併設の介護サービス、外部の介護サービス、併設と外部の介護サービス併用）
- ④ 当該年度の入退所者数
- ⑤ 施設の料金（基本料金と収入階層ごとの入所者数、その他の料金）
- ⑥ 年度末現在の入所者の他施設への入所申込者数
- ⑦ ターミナルケアへの対応の有無、実施件数、実施状況、課題
- ⑧ 入所者が受けている主な医療処置、医療処置の実施人数、実施状況、課題

(2) 生活支援ハウス

年度末の次の数値について調査。

- ⑨ 施設の介護サービスの併設状況（特定施設入所者生活介護の指定の有無等）
- ⑩ 入所定員と入所者数（要介護度別、日常生活自立度別、入所前の住所地別）
- ⑪ 入所者の生活保護受給の有無、単身・夫婦世帯の有無、利用している介護サービス別の内訳（併設の介護サービス、外部の介護サービス、併設と外部の介護サービス併用）
- ⑫ 入所前の住所地別の入所者数（日常生活圏域内外）
- ⑬ 当該年度の入退所者数
- ⑭ 施設の料金（基本料金と収入階層ごとの入所者数、その他の料金）
- ⑮ 年度末現在の入所者の他施設への入所申込者数

5 調査の方法

地域包括ケア推進係に調査票の記入を依頼した。(事業所でなければ記入できない部分については、地域包括ケア推進係からそれぞれの事業所に調査票の記入を依頼。)

6 調査の集計

結果の集計は、長寿社会課介護保険係で行った。

7 利用上の注意

(1) この概要に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

8 調査結果の概要

(1) 養護老人ホーム

(※数値は年度末現在のもの)

【事業所数、定員等】

- 本市の養護老人ホームは、1施設がサービスを提供している。(市が設置し、社会福祉法人が指定管理者として運営している)
- 入所定員は、90人となっている。
- 入所者は、全体的入所定員90人に対して入所者90人となっており、稼働率は100%となっている。

【入所前の住所地】

- 入所者の入所前の住所地は、全入所者90人中89人(99%)が鳥取市内となっている。

【要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度】

- 要介護度別の入所者は下段の(表1)のとおりとなっており、認定のある入所者が全入所者90人中72人(80%)と、約8割を占めている。

(表1) 要介護度別の入所者数

(単位：人)

区分	認定なし	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
入所者	18	11	8	14	23	10	4	2	90
構成比	20%	12%	9%	16%	26%	11%	4%	2%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを赤字で表示している。

- 認知症高齢者の日常生活自立度別の人数は下段の**（表 2）**のとおりとなっている。このうちⅡa からMまでの入所者は 90 人中 57 人（63.3%）となっており、約 6 割の入所者が認知症により第三者の支援を必要としている。

（表 2） 日常生活自立度別の入所者数

（単位：人）

区分	なし	I	Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ	M	計
			a	b	a	b			
入所者	7	8	12	29	12	0	3	1	72
構成比	10%	11%	17%	40%	17%	0%	4%	1%	100%

（備考）上記の表は構成割合の多いものを赤太字で表示している。

- 「要介護度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」でクロス集計**（表 3）**すると、入所者の主な状態像は「要介護認定なしから要介護 3」かつ「認知症高齢者の日常生活自立度なし～Ⅲa」の領域に分布している。

(表3) 鳥取市内の養護老人ホーム入所者の「日常生活自立度」と「要介護度」

鳥取市内の養護老人ホーム入所者の「日常生活自立度」と「要介護度」

区分	認知症高齢者の日常生活自立度		なし	要支援		要介護						計	
	判定基準	見られる症状・行動の例		1	2	1	2	3	4	5	その他		
なし			18人	0人	3人	1人	2人	1人	0人	0人	0人	0人	25人
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭及び社会的にほぼ自立している。		人	5人	1人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	8人
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多く見られても、誰かが注意していれば自立できる。												
a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等	人	4人	2人	1人	4人	1人	0人	0人	0人	0人	12人
b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等	人	0人	2人	11人	8人	6人	2人	0人	0人	0人	29人
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。												
a	日を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等	人	2人	0人	0人	7人	2人	1人	0人	0人	0人	12人
b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる	ランクIII aに同じ	人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ	人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	2人	0人	3人
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等	人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
		計	18人	11人	8人	14人	23人	10人	4人	2人	0人	0人	90人

「要介護認定なし～要介護3」・「自立度なし～Ⅲa」が本市所在の事業所における利用者の中心的な状態。

【備考】
 1 上記は平成30年度に本市が実施した高齢者居住施設調査の集計結果
 2 調査時点：平成30年3月31日現在
 3 回答数：1事業所/1事業所（回答率100%）
 4 「その他」には、平成30年3月31日現在で要介護認定を受けていない者（変更申請中の者など）

【介護サービスの利用状況】

■要介護認定のある入所者 72 人のうち、67 人が外部の介護サービスを利用している。

【入退去の状況】

■入退去の状況は下段の（表 4）のとおりとなっている。

（表 4）施設の入退去の状況

（単位：人）

定員 (A)	入退去（月平均）		入退去割合 (①+②) × 0.5 / (A)
	入所 ①	退去 ②	
90	1	2	1.7%

【施設の料金】

■施設の基本料金（月額）と収入階層ごとの入所者数は（表 5）のとおりとなっている。このうち、本人徴収基準額が 47,800 円である入所者と 54,400 円である入所者がどちらも全入所者 90 人中 8 人（8.9%）、本人徴収基準額が 0 円である入所者が全入所者 90 人中 7 人（7.8%）を占めており、構成割合が多くなっている。

■上記以外にも、その他の料金（表 6）が必要となっている。

(表5) 施設の基本料金(月額)と収入階層ごとの入所者数

対象収入による階層区分	本人徴収基準(月額)と入所者		左記の入居者の「扶養義務者費用徴収基準月額」別の内訳																					
	費用徴収基準額	入居者	A	B	C1	C2	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	D10	D11	D12	D13	D14				
1	0～270,000円	0円	9人					3																
2	270,001～280,000	1,000円	1人		1																			
3	280,001～300,000	1,800円	1人																					
4	300,001～320,000	3,400円	1人																					
5	320,001～340,000	4,700円	1人	1																				
6	340,001～360,000	5,800円	2人		2																			
7	360,001～380,000	7,500円	1人																					
8	380,001～400,000	9,100円	2人		1																			
9	400,001～420,000	10,800円	1人		1																			
10	420,001～440,000	12,500円	2人																					
11	440,001～460,000	14,100円	2人					2																
12	460,001～480,000	15,800円	2人		1																			
13	480,001～500,000	17,500円	1人																					
14	500,001～520,000	19,100円	2人		1																			
15	520,001～540,000	20,800円	3人		2				1															
16	540,001～560,000	22,500円	3人		1																			
17	560,001～580,000	24,100円	1人																					
18	580,001～600,000	25,800円	3人							1														
19	600,001～640,000	27,500円	1人			1																		
20	640,001～680,000	30,800円	1人			1																		
21	680,001～720,000	34,100円	8人			1	1				1													
22	720,001～760,000	37,500円	4人			1	1																	
23	760,001～800,000	39,800円	2人																					
24	800,001～840,000	41,800円	3人					1	1															
25	840,001～880,000	43,800円	6人		1	1																		
26	880,001～920,000	45,800円	1人																					
27	920,001～960,000	47,800円	8人		1				1															
28	960,001～1,000,000	49,800円	3人		1					1														
29	1,000,001～1,040,000	51,800円	2人		1																			
30	1,040,001～1,080,000	54,400円	2人																					
31	1,080,001～1,120,000	57,100円	3人		1																			
32	1,120,001～1,160,000	59,800円	3人		1				1															
33	1,160,001～1,200,000	62,400円	1人				1																	
34	1,200,001～1,260,000	65,100円	1人																					
35	1,260,001～1,320,000	69,100円	1人																					
36	1,320,001～1,380,000	73,100円	1人																					
37	1,380,001～1,440,000	77,100円	1人																					
38	1,440,001～1,500,000	81,100円	1人		1																			
39	1,500,001円以上	対象収入のうち1,500,000円を超過した額×0.9÷12+81,100円(100円未満は切り捨てる)。	4人		1				1															
		計	90人	1	18	5	3	7	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(表6) その他の料金

区分	費用	料金の内容
電気代 ①	100円	冷蔵庫
電気代 ②	100円	TV
電気代 ③	200円	電気ポット
④	円	いずれも部屋に持ち込んでいる利用者のみ
⑤	円	
月額(①～⑤)	円	

【介護保険施設への入所申込みの状況】

■入所者のうち、養護老人ホームを退去して、介護保険施設への入所を希望している者は下段（表7）のとおりとなっている。

（表7） 介護保険施設への入所申込み者

【全施設】 (単位：人)

入所者	他施設へ申込み者	内訳（申込み先の施設）					その他
		特養	老健	介護療養	特定施設	GH	
90	2	2	0	0	0	0	0

【看取りや医療への対応状況】

■入居者が提供を受けている医療処置は下段（表8）のとおりとなっている。また、入所者90人中2人（2%）が何らかの医療処置を受けている。

（表8） 入居者が提供を受けている主な医療処置

【全施設】 (単位：施設)

点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法	レスピレーター	気管切開の処置
1	0	1	0	0	0	0
疼痛の看護	経管栄養	モニター測定	じょくそこの措置	カテーテル	その他	実人数
0	0	0	1	0	0	2

■医療処置を行っている職員の所属は下段（表9）のとおりとなっている。

（表9） 医療処置を行っている職員の所属

【全施設】 (単位：施設)

施設	当該養護老人ホーム	併設の介護サービス事業所	外部の介護サービス事業所	その他
1	0	0	1	1
100%	0%	0%	0%	100%

(2) 生活支援ハウス

(※数値は年度末現在のもの)

【事業所数、定員等】

- 本市の生活支援ハウスは、全体で3施設がサービスを提供している。(市が設置し、社会福祉法人が指定管理者として運営している施設1、市が社会福祉法人に事業委託して運営している施設2)
- 入居定員は、3施設全体で50人(1施設当たり定員最小10人～最大20人)となっている。
- 入居者は、全体の入居定員50人に対して入居者49人となっており、稼働率は98%(1施設当たり最小90%～最大100%)となっている。

【入居前の住所地】

- 入居前の住所地は下段の(表10)のとおりとなっている。

(表10) 入居前の住所地

【全施設】

(単位：人)

区分		人数	構成比	
入居前の住所地が鳥取市内の方 (①+②) I		49人	100.0%	
施設の所在する日常生活圏域内から入居	①	17人	34.7%	
	内訳	事業所と同じ小学校区から入居	11人	22.5%
		上記以外	6人	12.2%
施設の所在する日常生活圏域以外から入居 ②		32人	65.3%	
入居前の住所地が鳥取市外の方 II		0人	0.0%	
合計 (I+II)		49人	100.0%	

【要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度】

■要介護度別の入居者は下段の（表11）のとおりとなっており、認定のある入居者が49人中34人（69.4%）と、約7割を占めている。

（表11）要介護度別の入居者数

【全施設】 (単位：人)

区分	認定なし	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
入居者	15	4	18	7	2	1	1	0	49
構成比	31%	8%	38%	15%	4%	2%	2%	0%	100%

（備考）上記の表は構成割合の多いものを赤太字で表示している。

■要介護認定がある入居者のうち、認知症高齢者の日常生活自立度別の人数は下段の（表12）のとおりとなっている。このうちⅡaからMまでの入居者は49人中21人（42.8%）となっており、約4割の入居者が認知症により第三者の支援を必要としている。

（表12）日常生活自立度別の入居者数

【全施設】 (単位：人)

区分	なし	I	Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ	M	計
			a	b	a	b			
入居者	21	16	5	4	1	0	0	2	49
構成比	43%	33%	10%	8%	2%	0%	0%	4%	100%

（備考）上記の表は構成割合の多いものを赤太字で表示している。

■「要介護度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」でクロス集計（表13）すると、入居者の主な状態像は「要介護認定なしから要介護2」かつ「認知症高齢者の日常生活自立度なし～Ⅱb」の領域に分布している。

鳥取市内の生活支援ハウス入居者の「日常生活自立度」と「要介護度」

(表13) 鳥取市内の生活支援ハウス入居者の「日常生活自立度」と「要介護度」

区分	認知症高齢者の日常生活自立度		なし	要支援		要介護						計	
	判定基準	見られる症状・行動の例		1	2	1	2	3	4	5	その他		
なし			15人	1人	4人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	21人
I		何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭及び社会的にほぼ自立している。	人	3人	11人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	16人
II		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多く見られても、誰かが注意していれば自立できる。											
a		家庭外で上記IIの状態が見られる。	人	0人	1人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	5人
b		家庭内でも上記IIの状態が見られる。	人	0人	2人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	4人
III		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。											
a		日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
b		夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
IV		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
M		著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	2人
		計	15人	4人	18人	7人	2人	1人	1人	0人	0人	1人	49人

「要介護認定なし～要介護2」・「自立度なし～II b」が本市所在の事業所における利用者の中心的状态像。

【備考】
 1 上記は平成30年度に本市が実施した高齢者居住施設調査の結果
 2 調査時点：平成30年3月31日現在
 3 回答数：3事業所/3事業所（回答率100%）
 4 「その他」には、平成30年3月31日現在で要介護認定を受けていない者（変更申請中の者など）

【併設の介護サービスとその利用状況】

■回答のあった3施設中3施設に併設の介護サービスがあり、通所介護に限ってみると、3施設とも併設をしている。(表14参照)

■入居者49人中28人(57%)が介護サービスを利用しており、介護サービス利用者28人中3人(10%)は併設の介護サービスを利用している。残りの25人(89%)は外部のサービスを使っている。(表15参照)

(表14) 併設の介護サービスの状況

【全施設】

(単位：施設)

事業所	併設サービス		併設サービスの内訳					
	有	無	通所介護	訪問介護	居宅介護支援	小規模多機能	GH	その他
3	3	0	3	0	1	0	1	1
100%	100%	0%	100%	0%	33%	0%	33%	33%

(備考) 上記の表は構成割合の多い物を赤字で表示している。

(表15) 併設の介護サービスの状況

【全施設】

(単位：人)

入居者	要介護認定		介護サービス利用者	利用している介護サービス別の内訳		
	有	無		サービス別の内訳		
				I 併設の介護サービス	II 外部の介護サービス	I・IIを併用
49	34	15	28	3	8	17
100%	72%	28%	100%	10%	29%	61%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを赤字で表示している。

【入退去の状況】

■入退所の状況は下段の(表16)のとおりとなっている。

(表16) 施設の入退所の状況

【全施設】

(単位：人)

定員 (A)	入退去 (月平均)		入退去割合 (①+②) × 0.5/ (A)
	入居 ①	退去 ②	
50	0	0	2.0%

【施設の料金】

- 施設の基本料金（月額）と収入階層ごとの入居者数は（表17）のとおりとなっており、対象収入額が1,200,000円以下で基本月額料金が無料の方が49人中36人（73.5%）と約7割を占めている。

（表17）施設の基本料金（月額）と収入階層ごとの入居者数

【全施設】

対象収入による階層区分	基本料金(月額)と入居者				計 (入居者)
	単身世帯	入居者	単身世帯以外	入居者	
1	無料	34人	無料	2人	36人
2	4,000円	4人	5,600円	0人	4人
3	7,000円	2人	9,800円	0人	2人
4	10,000円	2人	14,000円	0人	2人
5	13,000円	0人	26,000円	0人	0人
6	16,000円	1人	32,000円	0人	1人
7	19,000円	0人	38,000円	0人	0人
8	22,000円	1人	44,000円	0人	1人
9	25,000円	0人	50,000円	0人	0人
10	30,000円	0人	60,000円	0人	0人
11	35,000円	0人	70,000円	0人	0人
12	40,000円	0人	80,000円	0人	0人
13	45,000円	3人	90,000円	0人	3人
14	50,000円	0人	100,000円	0人	0人
	計	47人	計	2人	49人

- 上記以外にも、施設によっては、その他の料金（表18）が必要となっている。

（表18）その他の料金

（単位：円）

No	事業所名	その他の料金		
		月額	内訳	
			共益費	食費
1	A事業所	52,275	8,875	43,400
2	B事業所	9,000	9,000	
3	C事業所	0	-	-

【介護保険施設への入居申込みの状況】

- 入居者のうち、生活支援ハウスを退去して、介護保険施設への入居を希望している者は下段（表19）のとおりとなっている。

（表19）介護保険施設への入居申込み者

【全施設】

（単位：人）

入居者	他施設へ 申込み者	内訳（申込み先の施設）					その他
		特養	老健	介護 療養	特定 施設	GH	
49	0	0	0	0	0	0	0

【その他】

- 日常生活圏域別の稼働率は下段の（表20）のとおりとなっている。
- 事業所別の意見は下段の（表21）のとおりとなっている。

(表 20) 日常生活圏域別の稼働率 [生活支援ハウス] 1/2

計画区域			生活支援ハウス [平成29年度(年度末現在)]																		
計画区域	ブロック	地区公民館	事業所数 (年度末現在) (A)	登録者の住所地							要介護なし		要介護あり		要支援					鳥取市被保険者利用率 (B1)/(B)	稼働率 (B)/(A)
				定員 (A)	入居者 (B)	日常生活圏内		鳥取市外 (みなし指定)	要介護なし	要介護あり	要支援		要介護								
						事業所と同じ 小学校区	左記以外				日常生活圏外	1	2	1	2	3	4	5	その他		
A	中ノ郷	浜坂	1	20	20	2	3	15		9	11	2	7	1	1				100%	100%	
		中ノ郷																			
		計	1	20	20	2	3	15		9	11	2	7	1	1				100%	100%	
	北	城北																			
		久松																			
		遷喬																			
	計																				
	西	醇風																			
		富桑																			
		明德																			
	計																				
	福部	福部																			
		計																			
	合計		1	20	20	2	3	15		9	11	2	7	1	1				100%	100%	
B	東	修立																			
		稲葉山																			
		岩倉																			
	計																				
	南	倉田																			
		美保南																			
		日進																			
		美保																			
	計																				
	桜ヶ丘	米里																			
		津ノ井																			
		若葉台																			
		面影																			
	計																				
国府	宮下																				
	大矛																				
	成器																				
	谷																				
	あおば																				
計																					
合計																					
C	江山	神戸																			
		大和																			
		美穂																			
	計																				
	高草	大正																			
		東郷																			
松保																					
豊実		1	20	20	1	2	17		5	15	1	8	4	1	1			100%	100%		
計	1	20	20	1	2	17		5	15	1	8	4	1	1			100%	100%			
合計		1	20	20	1	2	17		5	15	1	8	4	1	1			100%	100%		

(表 2 1) 事業所別の意見 [生活支援ハウス]

《自由記載》

事業所	内容
A事業所	施設の老朽化により、修理・修繕が増加している。